

# 5年半のHHD後に献腎移植となった 患者から得られたこと

～ TCC-HHDと自己穿刺HHD両方の経験から ～



医療法人 心信会

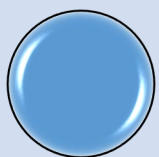
池田バスキュラーアクセス・透析・内科

Access/Nephrology/Dialysis

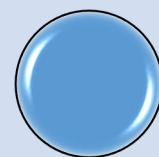
岩下 廉史

**2015年2月**

**HHD開始**

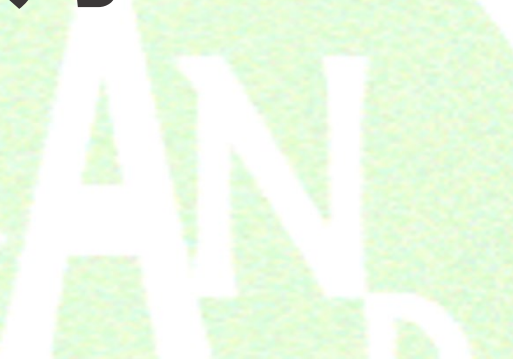


**8年9ヶ月**



**2023年10月**

**現在**





8年9ヶ月

HHD期間2015/2~2023/10末

自己穿刺  
7名



# 8年9ヶ月

HHD期間2015/2~2023/10末

自己穿刺  
7名

カフ型カテーテル  
11名

現在までに 18名 HHD導入

# 8年9ヶ月

HHD期間2015/2~2023/10末

自己穿刺

5名

(導入7名)

カフ型カテーテル

7名

(導入11名)

現在は 12名 HHD管理中

(導入18名)



# 5年半のHHD後に献腎移植となった 患者から得られたこと

～ TCC-HHDと自己穿刺HHD両方の経験から ～



医療法人 心信会

池田バスキュラーアクセス・透析・内科

Access/Nephrology/Dialysis

岩下 廉史

## 両方を経験した患者の症例報告

# 58歳 男性

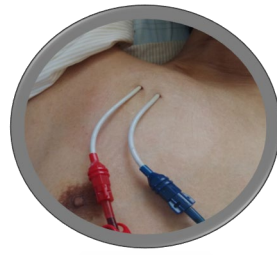
慢性腎不全 I型糖尿病

自営業

介助者 妻 子なし

## 理由と条件

- 仕事の時間を増やしたい
- 自身での穿刺は抵抗があるので  
カテーテルにて在宅血液透析をしたい



右内頸静脈  
カフ型カテーテル



左前腕AVF



# Key point

2011年4月  
当院維持  
透析開始  
左AVF

2016年1月  
TCCHHD  
トレーニング  
開始

2016年4月  
TCCHHD導入

2016年6月  
脳梗塞 入院

2017年1月  
自己穿刺HHD  
再導入

2021年11月  
献腎移植  
HHD離脱



2011年4月  
当院維持透析開始  
左AVF

2016年1月  
TCCHHD  
トレーニング開始

2016年4月  
TCCHHD導入

2016年6月  
脳梗塞 入院

2017年1月  
自己穿刺HHD再導入

2021年11月  
献腎移植 HHD離脱

2011年4月  
当院維持透析開始  
左AVF

2016年1月  
TCCHHD  
トレーニング開始

2016年4月  
TCCHHD導入

2016年6月  
脳梗塞 入院

2017年1月  
自己穿刺HHD再導入

2021年11月  
献腎移植 HHD離脱

## 経緯時系列

2011年4月から当院維持透析開始（導入同年3月）

左前腕AVFへの穿刺

約5年間の施設透析からスタッフのPRにより在宅血液透析に意欲的になる

自己穿刺の不安からカテーテル希望

2016年1月 右内頸カフ型カテーテル挿入



右内頸静脈  
カフ型カテーテル



左前腕AVF



2011年4月  
当院維持透析開始  
左AVF

2016年1月  
TCCHHD  
トレーニング開始

2016年4月  
TCCHHD導入

2016年6月  
脳梗塞 入院

2017年1月  
自己穿刺HHD再導入

2021年11月  
献腎移植 HHD離脱

## 経緯時系列

2011年4月から当院維持透析開始（導入同年3月）

左前腕AVFへの穿刺

約5年間の施設透析からスタッフのPRにより在宅血液透析に意欲的になる

自己穿刺の不安からカテーテル希望

2016年1月 右内頸カフ型カテーテル挿入

2016年2月 HHDトレーニング開始

2016年4月 約2ヶ月のHHDトレーニングを経てHHD導入となる



右内頸静脈  
カフ型カテーテル



左前腕AVF



2011年4月  
当院維持透析開始  
左AVF

2016年1月  
TCCHHD  
トレーニング開始

2016年4月  
TCCHHD導入

2016年6月  
脳梗塞 入院

2017年1月  
自己穿刺HHD再導入

2021年11月  
献腎移植 HHD離脱

## 経緯時系列

2016年6月初旬 2ヶ月間TCC-HHDも順調なので  
左AVFの閉鎖術施行

2016年6月中旬 約2ヶ月調子の良かったHHD生活  
自宅で脳梗塞を発症し入院

入院中の精査により卵円孔が見つかる  
TCCからの脳梗塞疑いとなり、しばらくTCCを使わな  
い透析方針とした。

2016年8月 左前腕AVF再建術  
穿刺による施設透析開始

2016年10月 カフ型カテーテル抜去術



右内頸静脈  
カフ型カテーテル



左前腕AVF





2011年4月  
当院維持透析開始  
左AVF

2016年1月  
TCCHHD  
トレーニング開始

2016年4月  
TCCHHD導入

2016年6月  
脳梗塞 入院

2017年1月  
自己穿刺HHD再導入

2021年11月  
献腎移植 HHD離脱

## 経緯時系列

**2016年10月 カフ型カテーテル抜去術**

幸いにも脳梗塞の後遺症は軽く、本人の強い希望から自己穿刺でのHHDへ移行する方針となる

**2016年10月 自己穿刺HHDトレーニング開始**

**2017年1月 3ヶ月のHHDトレーニングを経て自己穿刺でHHD再導入**



左前腕AVF



2011年4月  
当院維持透析開始  
左AVF

2016年1月  
TCCHHD  
トレーニング開始

2016年4月  
TCCHHD導入

2016年6月  
脳梗塞 入院

2017年1月  
自己穿刺HHD再導入

2021年11月  
献腎移植 HHD離脱

## 経緯時系列

2016年10月 カフ型カテーテル抜去術

幸いにも脳梗塞の後遺症は軽く、本人の強い希望から自己穿刺でのHHDへ移行する方針となる

2016年10月 自己穿刺HHDトレーニング開始

2017年1月 3ヶ月のHHDトレーニングを経て自己穿刺でHHD再導入

2021年11月 急遽、腎移植の機会が巡り献腎移植を行いHHD離脱となった

約5年半のHHDは終了



左前腕AVF





**移植後1年が経過…**

**患者と再会し**

**インタビューを行う機会を得た**

**HHDをしていた頃と移植してからの  
体調の変化や思うところを教えてください。**







**今の段階ですが**

**体調はHHDが良いか 移植が良いか わからない。**

**というのも、移植後は入退院を繰り返したからね。**

**気持ちは透析がないだけ今が良いよね。**

**カテーテルHHDと自己穿刺HHDを  
どちらも経験しましたがご意見を聞かせて下さい。**





**カテーテルHHDは短い期間だったけど  
それは良かったよ。**

**毎日、透析するのにストレスを感じなかった。**

**徐々にカテーテルの存在も気にならなくなるしね。**

自己穿刺はストレスがあった。

だから穿刺になってからは毎日透析をしなかった。

穿刺でのHHDも経験しているからこそ言えるけど

カテーテルでのHHDはストレスなく毎日できてよかった  
と思うよ。



またHHDを行うことになれば  
カテーテルでHHDを選択したいね。

HHDがあったから5年以上、普通に仕事ができたとし  
病院には感謝しているよ。



# まとめ

**自己穿刺HHDとカテーテルHHDの  
両方を経験している患者の意見は貴重であった。**

# まとめ

もちろんカテーテルはシャントに比べ  
感染症から致命傷となるリスクは高い。

一方でカテーテルは患者側の意見として  
HHDを行うハードルを下げてくれることもわかった。

# 結論

患者はVAの手段として  
カテーテルが選択できるということは  
HHDに対してハードルを下げる一助となる。

# 結論

そのため医療者側はカテーテルの発展や  
医原病に対するリスク減少に繋がるように  
進歩し続けなければならない。

# 第25回日本在宅血液透析学会 COI 開示

岩下 廉史

演題発表に関連し、開示すべきCOI 関係にある  
企業などはありません。



# 5年半のHHD後に献腎移植となった 患者から得られたこと

～ TCC-HHDと自己穿刺HHD両方の経験から ～



医療法人 心信会

池田バスキュラーアクセス・透析・内科

Access/Nephrology/Dialysis

岩下 廉史